

Annotation Software

Microsoft® Windows® の場合

ユーザーマニュアル

© Agfa-Gevaert N.V. 2000.

Agfa-Gevaert N.V. からの書面による許可がない限り、この文書のどの部分も、いかなる形式でも複製、複写、編集あるいは送信することはできません。

Agfa-Gevaert N.V. は本書に含まれる情報の精度、完全性または利便性に関して明示的または黙示的に保証または表明するものではなく、任意の特別な目的に対する適用性を特定の表明するものではありません。Agfa-Gevaert N.V. は本書に記載される情報、機器、手段またはプロセスに起因する損害に対していかなる状況のもとでもその責任を負いません。

Agfa-Gevaert N.V. は事前に通告することなく本書の内容を変更する権利を保有します。

Agfa-Gevaert N.V., Septestraat 27, B-2640 Mortsel, Belgium.

Annotation Software は Agfa-Gevaert N.V., Belgium の商標です。

Agfa および Agfa-Rhombus は、Agfa-Gevaert AG, Germany の登録商標です。

目次

章 1 Annotation Software の概要	5
Annotation Software について	6
Annotation Software の機能	7
章 2 Annotation Software を使用する	9
注釈を追加する	10
注釈を表示する / 隠す	10
グリッド線を表示する / 隠す	11
距離を測定する	13
距離測定を校正する	15
角度を測定する	19
関心領域 (ROI) 内のスキャン平均レベルを計算する	21
密度プロフィールを計算する	23
線を引く	25
矢印を描く	27
図形フォームを描く	29
テキストを追加する	32
定義済テキストを設定する	34
注釈を編集する	36
注釈を削除する	38
注釈を与えられた画像を保存する	40

Annotation Software の概要

この章では次のトピックについて説明しています：

- Annotation Software について
- Annotation Software の機能

Annotation Software について

Annotation Software はアドオンプログラムで、QC Viewer Software の基本注釈機能を拡張しています。

Annotation Software ユーザーマニュアルは、Annotation Software の使用に関する全般的かつ実用的な情報を提供しています。QC Viewer Software と組み合わせて Annotation Software を使用する上での詳細については、QC Viewer Software の参照マニュアルまたは QC Viewer オンラインヘルプを参照してください。

Annotation Software の機能

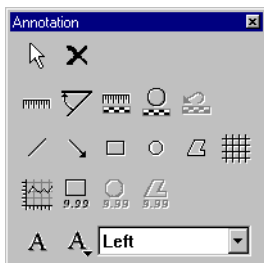
Annotation Software を使用すると、画像に注釈を追加し、測定を行うことができます。次のことが実行できます：

- 距離を測定する。
- 距離を校正する。
- 角度を測定する。
- 関心領域 (ROI) 内のスキャン平均レベルを計算する。
- 密度プロフィールを計算する。
- 線を引く。
- 矢印を描く。
- 図形フォーム（長方形、楕円、多角形）を描画する。
- カスタムテキストおよび定義済テキストを追加する。

測定または計算を行うとき、または、注釈を追加するとき、補助として画像上にグリッド線を表示することができます。

❖ 注釈は、表示または隠すことができます。

注釈ツールバー上のボタンによって上記の注釈機能にアクセスすることができます。



注釈ツールバー

	[選択] ボタン		[削除] ボタン
	[距離] ボタン		[角度] ボタン
	[線校正] ボタン		[円校正] ボタン

	[校正復帰] ボタン		
	[線] ボタン		[矢印] ボタン
	[矩形] ボタン		[円] ボタン
	[多角形] ボタン		[グリッド] ボタン
	[密度プロフィール] ボタン		[矩形 ROI] ボタン
	[円 ROI] ボタン		[多角形 ROI] ボタン
	[テキスト] ボタン		[定義済テキスト] ボタン
		[定義済テキスト] ボックス	

Annotation Software を使用する

この章では次のトピックについて説明しています：

- ☐ 注釈を追加する
- ☐ 注釈を編集する
- ☐ 注釈を削除する
- ☐ 注釈を与えられた画像を保存する

注釈を追加する

ADC 注釈ソフトウェア では次の注釈を画像に追加できます。線、矢印、図形フォーム（長方形、楕円、多角形）、定義済テキスト、およびカスタムテキスト。それだけでなく、距離と角度測定を行うことができます。画像が校正オブジェクトを含んでいる場合、距離と角度測定を校正することができます。画像は、注釈をオンまたはオフにすることによって表示できます。

さらに、スキャン平均レベルとヒストグラムは関心領域に対して決定され、線に沿った密度プロフィールを表示することができます。

注釈を表示する / 隠す

注釈が画像に追加された場合、その注釈を表示するか隠すかを選択できます。

- ❖ 注釈を追加したり、測定や計算を行う前に、注釈をオンにしてください。
- ❖ 注釈をオフにしてから結果を保存しても、注釈は消えません。いつでも、注釈を再びオンにすることができます。

注釈をオンまたはオフするには：

[表示]メニューの[注釈]をクリックします。

チェックマークは、注釈がオンであることを意味します。画像に注釈がある場合、その注釈付きの画像は画像フレーム内に表示されます。

グリッド線を表示する / 隠す

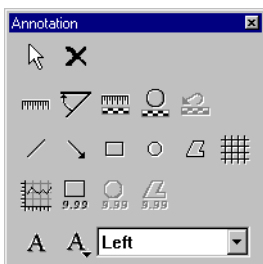
画像へ注釈を追加したり、測定を行うとき、画像上にグリッド線を表示させると便利です。

グリッド線をオンにするには：

- 1 注釈がオンであることを確認します。
10ページの「注釈を表示する / 隠す」を参照してください。
- 2 [ツール]メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準]ツールバー上の[注釈]ボタンをクリックすることができます。



[注釈]ツールバーが表示されます。



- 3 [グリッド]ボタンをクリックします。



[グリッド間隔]ダイアログボックスが表示されます。



4 グリッド間隔を入力します。

ADC QS Station の地域設定が長さの単位を決定します。

5 [OK] をクリックします。

グリッド線が表示されます。

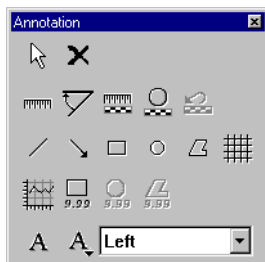
グリッド線をオフにするには：

1 [ツール] メニューの注釈をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の[注釈]ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



2 [グリッド] ボタンをクリックします。



グリッド線が隠されます。

距離を測定する

[注釈] ツールバーを介して、画像内の特定の特徴間の距離を計ることができます。画像の基準オブジェクトを使用して距離測定を校正しなかった場合、その測定値は画像プレート寸法を参照します。

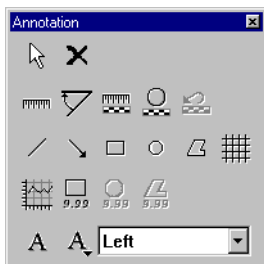
❖ 校正された距離測定を使用したい場合、まず校正を行います。15 ページの・距離測定を校正する・を参照してください。

一つ以上の距離を測定するには：



- 1 測定したい画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの・注釈を表示する / 隠す・を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



4 距離を測定します：

目的	方法	ボタン
一つの距離を測定する	[距離] ボタンをクリックする。	
複数の距離を測定する	[距離] ボタンをダブルクリックする。	

ポインタは、標準ポインタとルーラーになりました。

5 一度クリックして測定の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。

ポインタを動かすと、始点とポインタの間の距離が表示されます。ADC QS Station の地域設定が長さの単位を決定します。

クリックして測定の終了を定義した後、測定された距離が表示されます。ドラッグすることによって距離ラベルを移動することができます。ラベルのサイズ変更ハンドルをドラッグすることによって距離ラベルの大きさを変更することができます。

6 複数の距離を測定するには、ステップ 5 を繰り返します。

7 測定を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

40 ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。

- 測定された距離を修正するには、36 ページの・注釈を編集する・を参照してください。

距離測定を校正する

画像内の直線または円形基準オブジェクトのいずれかを使用して距離測定を校正することができます。いつでも、オリジナルの校正に復帰することができます。



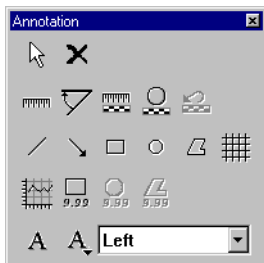
校正は校正を行う画像だけに適用されます。

線校正を通して距離を校正するには：

- 1 直線基準オブジェクト付の画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの・注釈を表示する / 隠す・を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の[注釈]ボタンをクリックすることができます。



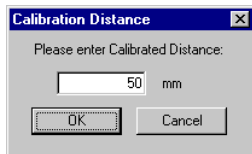
[注釈] ツールバーが表示されます。



4 [線校正] ボタンをクリックします。



[校正距離] ダイアログボックスが表示されます。



5 校正距離として使用する距離の値を入力します。

ADC QS Station の地域設定が長さの単位を決定します。

6 [OK] をクリックします。

これでこのポインタは、校正バーが付いた標準ポインタとルーラーになりました。

7 一度クリックして校正距離の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。

校正距離が表示されます。ドラッグすることによって距離ラベルを移動することができます。ラベルのサイズ変更ハンドルをドラッグすることによって距離ラベルの大きさを変更することができます。

今後測定する距離はすべてこの校正距離を基準にします。

❖ 以前に測定された距離は再計算されません。

8 校正を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

40 ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。

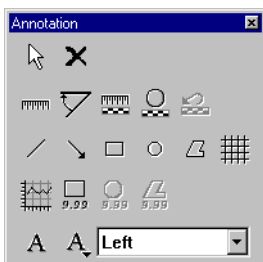
➤ 測定された距離を修正するには、36 ページの・注釈を編集する・を参照してください。

円校正を通して距離を校正するには：

- 1 円形基準オブジェクトのある画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの・注釈を表示する / 隠す・を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の[注釈]ボタンをクリックすることができます。



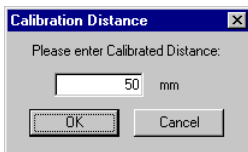
[注釈] ツールバーが表示されます。



- 4 [円校正] ボタンをクリックします。



[校正距離] ダイアログボックスが表示されます。



- 5 校正距離として使用する円の直径を入力します。
ADC QS Station の地域設定が長さの単位を決定します。

6 [OK] をクリックします。

これでポインタは、較正バーの標準ポインタと円になりました。

7 較正オブジェクトの周上の 3 点をクリックします。

較正距離が表示されます。ドラッグすることによって距離ラベルを移動することができます。ラベルのサイズ変更ハンドルをドラッグすることによって距離ラベルの大きさを変更することができます。

今後現在の画像で測定する全ての距離は、較正距離を基準とします。

❖ *以前に測定された距離は再計算されません。*

8 較正を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

40 ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。

➤ 測定された距離を修正するには、*36 ページの・注釈を編集する・を参照してください。*

角度を測定する

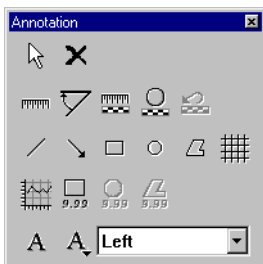
[注釈] ツールバーを使用して、2 つの特徴の間の角度を測定することができます。

一つ以上の角度を測定するには：

- 1 測定したい画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの・注釈を表示する / 隠す・を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



- 4 角度を測定します：

目的	方法	ボタン
一つの角度を測定する	[角度] ボタンをクリックします。	
複数の角度を測定する	[角度] ボタンをダブルクリックします。	

これでポインタは標準ポインタと角度となります。

5 一度クリックして最初の辺の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。

6 一度クリックして第二辺の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。

ポインタを動かすと、二つの辺の間の角度が表示されます。

第二辺の終点を定義した後、測定された角度 ($<180^\circ$) が表示されます。ドラッグすることで角度ラベルを移動できます。ラベルのサイズ変更ハンドルをドラッグすることで角度ラベルを移動できます。

7 複数の角度を測定するにはステップ **5** から **6** を繰り返します。

8 測定を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

40 ページの **・注釈を与えられた画像を保存する・** を参照してください。

➤ 測定された距離を修正するには、36 ページの **・注釈を編集する・** を参照してください。

関心領域 (ROI) 内のスキャン平均レベルを計算する

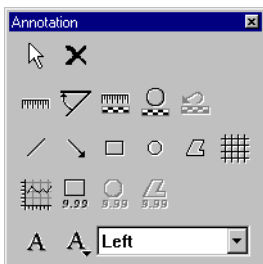
[注釈] ツールバーを使用して、円形または多角形関心領域 (ROI) 内のスキャン平均レベル (SAL) を計算することができます。

一つ以上の関心領域のスキャン平均レベルを計算するには：

- 1 SAL を計算したい画像を、アクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの・注釈を表示する / 隠す・を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



- 4 関心領域のフォームを選択します：

マークする	クリックするボタン	ボタン
矩形 ROI	[矩形 ROI] ボタン	

5 関心領域をマークします：

描くフォーム	方法
矩形 ROI	<div><div>1 一度クリックして一角を定義します。</div><div>2 ポインタを動かします。</div><div>3 もう一度クリックして対角を定義します。</div></div>

関心領域のスキャン平均レベル (SAL) が表示されます。ドラッグすることによって SAL ラベルを動かすことができます。ラベルのサイズ変更ハンドルをドラッグすることによって SAL ラベルの大きさを変更することができます。

- 6 複数の関心領域内のスキャン平均レベル (SAL) を計算するには、ステップ 4 から 5 を繰り返します。
- 7 関心領域とそれに関連する SAL 値を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

40 ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。

➤ 測定された距離を修正するには、36 ページの・注釈を編集する・を参照してください。

密度プロフィールを計算する

[注釈] ツールバーを使用して、密度、すなわち、矩形面積に対応する放射線の線量の平方根を計算することができます。画像の基準オブジェクトを使用して距離測定を校正しなかった場合、その長さ寸法値は画像プレート寸法を参照します。

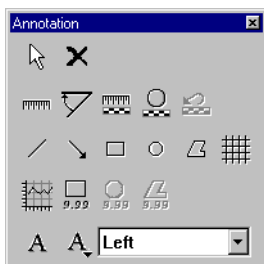
❖ 校正された距離測定を使用したい場合、まず校正を行います。15 ページの「距離測定を校正する」を参照してください。

密度プロフィールを計算するには：

- 1 計算したい画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの「注釈を表示する / 隠す」を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。

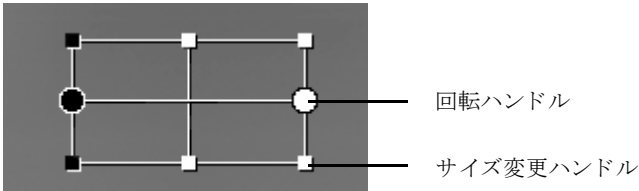


- 4 [密度プロフィール] ボタンをクリックします。



空白の [密度プロフィール] が表示されます。

- 5 アクティブな画像をクリックします。
密度プロフィール マーカーが表示されます。



- 6 密度プロフィールを計算したいエリアをカバーするように、密度プロフィールマーカーを配置します。
密度プロフィールは、密度プロフィールマーカー内の面積に対応する、円形回転ハンドルの間の線量に従って計算されます。

目的	方法
密度プロフィール マーカーをシフトする	<p>1 ポインタをマーカーの中央の方へ動かします。 ポインタが十字になります。</p> <p>2 マーカーをドラッグします。</p>
密度プロフィール マーカーの大きさを変更する	<p>1 ポインタをマーカーのサイズ変更ハンドルの方へ動かします。 ポインタが、矢印になります。</p> <p>2 ハンドルをドラッグします。</p>
密度プロフィール マーカーを回転させる	<p>1 ポインタをマーカーの回転ハンドルの方へ動かします。 ポインタはカーブした矢印になります。</p> <p>2 ハンドルをドラッグします。</p>

- 7 密度プロフィール マーカーをボタンを右クリックして、ショートカット メニューの [再計算] をクリックします。
密度プロフィールは、密度プロフィール ウィンドウに表示されます。

線を引く

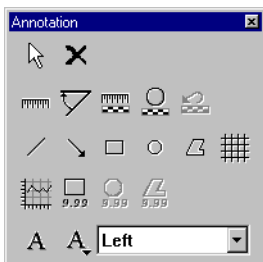
線によって特定の特徴を指し示すことができます。

1 本以上の線を引くには：


- 1 線を追加したい画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの「注釈を表示する / 隠す」を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



4 線を引きます：

目的	方法	ボタン
1 本の線を引く	[線] ボタンをクリックします。	
複数の線を引く	[線] ボタンをダブルクリックします。	

これでポインタは標準ポインタと線になります。

- 5 一度クリックして線の始点を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして終点を定義します。
 - 6 複数の線を引くにはステップ 5 を繰り返します。
 - 7 線を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。
40 ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。
- 線を移動またはサイズ変更をするには、36 ページの・注釈を編集する・を参照してください。

矢印を描く

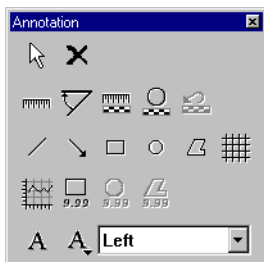
矢印によって特定の特徴を指し示すことができます。

一つ以上の矢印を描くには：



- 1 矢印を追加したい画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの「注釈を表示する / 隠す」を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



4 矢印を描きます

目的	方法	ボタン
1 本の矢印を描く	[矢印] ボタンをクリックします。	
複数の矢印を描く	[矢印] ボタンをダブルクリックします。	

ポインタは標準ポインタと矢印になります。

- 5 一度クリックして矢印の先端を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックして軸を定義します。
- 6 複数の矢を引くにはステップ 5 を繰り返します。
- 7 矢印を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。
40 ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。

➤ 線を移動またはサイズ変更をするには、36 ページの・注釈を編集する・を参照してください。

図形フォームを描く

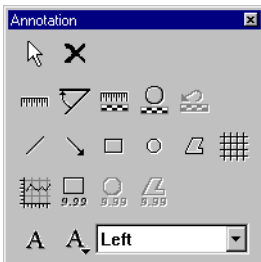
[注釈] ツールバーを使用して、画像に矩形、楕円または多角形を追加することができます。

一個以上の図形フォームを描くには：

- 1 図形フォームを追加したい画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの **・注釈を表示する / 隠す・** を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



4 図形フォームを選択します：

描くフォーム	クリックするボタン	ボタン
矩形	[矩形] ボタン	
楕円	[円] ボタン	
多角形	[多角形] ボタン	

これでポインタは標準ポインタと図形フォームになります。

❖ 同一の図形フォームを複数描画するには、該当するボタンをダブルクリックします。

5 図形フォームを描きます：

描くフォーム	方法
矩形	<div><div>1 一度クリックして一角を定義します。</div><div>2 ポインタを動かします。</div><div>3 もう一度クリックして対角を定義します。</div></div>
楕円	<div><div>1 一度クリックして1点を定義します。</div><div>2 ポインタを動かします。</div><div>3 もう一度クリックして半径を定義します。</div></div>
多角形	<div><div>1 クリックして始点を定義します。</div><div>2 ポインタを動かしてクリックし、各角を定義します。</div><div>3 多角形を閉じるには、始点をクリックします。</div></div>

- 6** 図形フォームを保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

40ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。

- 図形フォームを移動またはサイズ変更をするには、36ページの・注釈を編集する・を参照してください。

テキストを追加する

[注釈] ツールバーを使用して、画像にテキストを追加することができます。カスタムテキストを追加したり、または多くの [定義済テキスト] から選択することができます。

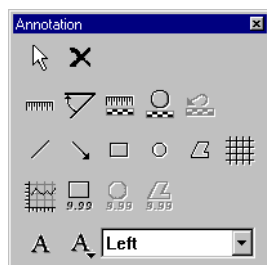
▶ [定義済テキスト] を設定するには、34ページの・定義済テキストを設定する・を参照します。

テキストを追加するには：



- 1 テキストを追加したい画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10ページの・注釈を表示する / 隠す・を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の [注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



4 テキストを追加します：

追加するテキスト	方法
カスタムテキスト	<p>1 テキストボタンをクリックします。</p>  <p>テキストボックスが表示されます。</p> <p>2 テキストを入力し [ENTER] をクリックします。</p>
定義済テキスト	<p>[定義済テキスト] ボックスのテキストをクリックします。</p> 

これでポインタは標準ポインタと A になります。

- 5** 一度クリックしてテキストの中心を定義し、ポインタを動かし、もう一度クリックしてサイズを定義します。
- 6** 複数のテキストを追加するには、ステップ **4** から **5** を繰り返します。
- 7** テキストを保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。
40ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。

定義済テキストを設定する

頻繁に使用する注釈テキストを定義済テキストとして保存することができます。

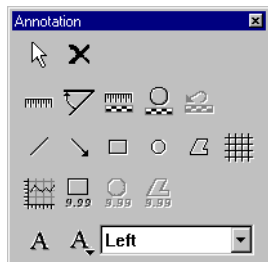
一つ以上の定義済テキストを定義するには：

- 1 [ツール] メニューの注釈をクリックします。

その代わりに、[標準] ツールバー上の[注釈]ボタンをクリックすることができます。



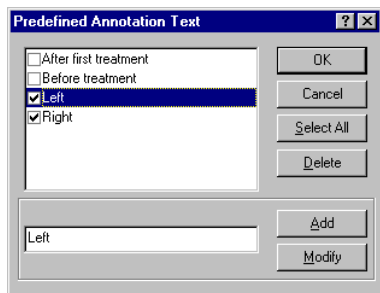
[注釈] ツールバーが表示されます。



- 2 [定義済テキスト] ボタンをクリックします。



[定義済注釈テキスト] ダイアログボックスが表示されます。



3 定義済テキストを設定します：

目的	方法
定義済テキストを追加する	1 ボックスにテキストを入力します。 2 [追加]をクリックします。
定義済テキストを変更する	1 リスト内のテキストをクリックします。 2 ボックスのテキストを編集します。 3 [変更]をクリックします。
定義済テキストを削除する	1 リスト内のテキストをクリックします。 2 [削除]をクリックします。

4 [注釈]ツールバーのリストボックス内で使用可能にしたい定義済テキストのチェックボックスを選択します。

5 [OK]をクリックします。

注釈を編集する

以前に定義した注釈を簡単に編集することができます。次のことが実行できます：

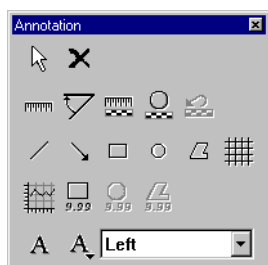
- 線、矢印、図形フォームまたはテキストを移動したり、サイズを変更します。
- 距離および角度ラベルだけでなく測定された距離および角度を修正します。
- 較正距離および較正ラベルを修正します。
- 関心領域を修正します、対応するスキャン平均レベル（SAL）をアップデートし、SAL ラベルを修正します。

注釈を編集するには：

- 1 注釈を編集したい画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの「注釈を表示する / 隠す」を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の[注釈] ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



- 4 [選択] ボタンをクリックします。



- 5 編集したい注釈をクリックします。

注釈が選択されています。距離、角度、較正注釈はマーカーおよびラベルで較正されています。関心領域注釈は、関心領域マーカーおよび SAL ラベルから構成されています。マーカーおよびラベルの両方を編集することができます。

- 6 マーカーおよび／またはラベルを編集します：

目的	方法
アイテムを移動する	<ol style="list-style-type: none"> 1 ポインターをアイテムの中央に移動します。 ポインタが十字になります。 2 アイテムをドラッグします。
アイテムをサイズ変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1 ポインタをマーカーのサイズ変更ハンドルの方へ動かします。 ポインタは、矢印になります。 2 ハンドルをドラッグします。

- 7 関心領域の大きさを変更した場合、右ボタンをクリックし、ショートカットメニューの [再計算] をクリックします。

スキャン平均レベル (SAL) が、アップデートされます。

- 8 編集した注釈を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。

40ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。

注釈を削除する

最終的に注釈を外したい場合、その注釈を削除しなければなりません。



一旦注釈が削除されたら、決して復元できません！

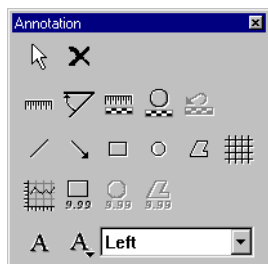
- ❖ 一時的に全ての注釈を隠したい場合、注釈をオフにすることができます。その場合、注釈は画像と共に保存され、いつでも再表示できます。
10 ページの・注釈を表示する / 隠す・を参照してください。

1 個以上の注釈を削除するには：

- 1 注釈を削除したい画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2 注釈をオンにします。
10 ページの・注釈を表示する / 隠す・を参照してください。
- 3 [ツール] メニューの注釈をクリックします。
その代わりに、[標準] ツールバー上の[注釈]ボタンをクリックすることができます。



[注釈] ツールバーが表示されます。



- 4 [選択] ボタンをクリックします。



- 5 削除したい注釈をクリックします。

- 6 以下のうちの一つを行います：

- [標準] ツールバー上の [削除] ボタンをクリックします。
- [注釈] ツールバー上の [削除] ボタンをクリックします。



- [DELETE] キーを押します。

- 7 複数の注釈を削除するには、ステップ 4 から 6 を繰り返します。

- 8 修正を保存するには、既存の画像と置換するか、変更した画像を新規の画像として保存します。


40ページの・注釈を与えられた画像を保存する・を参照してください。

注釈を与えられた画像を保存する

注釈を追加した場合、これらの変更を保存したければ、ディスク上に画像を手動で保存してください。

画像を保存するには：

- 1
- 画像をアクティブな画像にします。
サムネイル フレームまたは画像フレーム内で画像をクリックすることができます。
- 2
- 任意の注釈を追加します。
- 3
- 画像を保存します：

目的	方法	ボタン
変更された画像で既存の画像を置換します	[ファイル] メニューの [保存] をクリックします。 代わりに、[標準] ツールバー上で [保存] ボタンをクリックすることができます。	
変更された画像を診断ファイルに追加する新規の画像として保存します。	[ファイル] メニューの [名前を付けて保存] をクリックします。	-

画像は、ローカルデータベースに保存されます。



ベルギーで印刷

発行所 Agfa-Gevaert N.V., B-2640 Mortsel-Belgium

2272A JA 20001222

